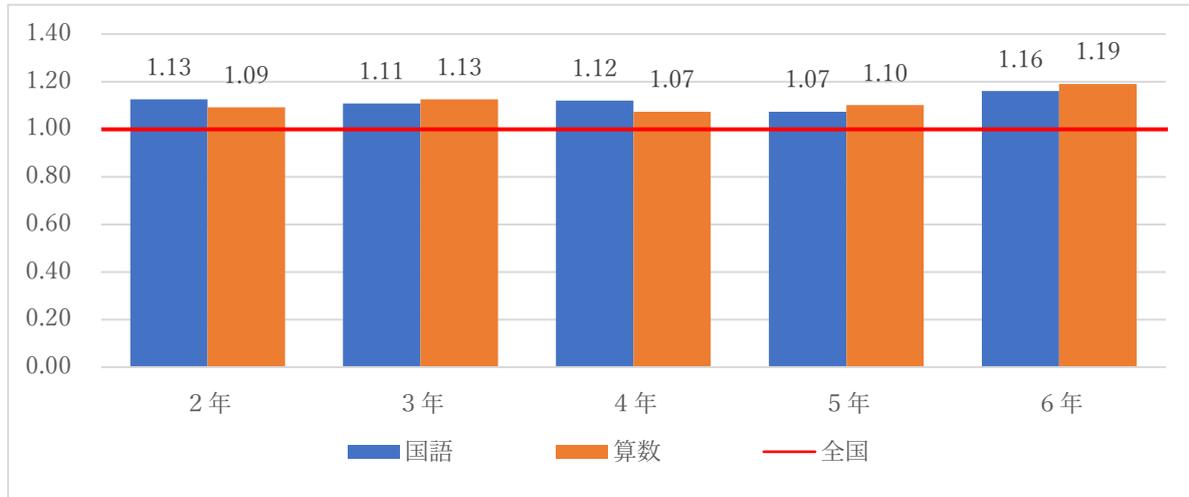


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

友呂岐中学校区 木屋小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	全学年において、全国平均を上回っており、非常に良好な状況である。今後も漢字の読み書きなど基礎基本を丁寧に鍛えていく。
	算数	全学年において、全国平均を上回っており、非常に良好な状況である。今後も躰き箇所を確認しながら基礎基本の習得を積み重ねていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと等全てにおいて全国平均を上回っている。今後も、基礎基本及び活用についてさらに定着を図っていく。
	算数	数と計算、図形、変化と関係、データの活用等全てにおいて全国平均を上回っている。今後さらに基礎基本の上に活用能力を積み重ねていく。
	質問紙	「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の質問に、肯定的な回答が全国平均を上回っている。今後、より一層魅力ある学校を旨ざして取り組む。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

校区学力向上部会において調査内容の分析を行い、成果と課題を明確化し、校区全教職員で共有する。今後も、9か年を通じた児童生徒の学力向上に取り組み、校区で協働して系統的にディベート学習に取り組み、キャリア育成も図っていく。

【 学 校 】

基礎基本をしっかり定着させ、そのうえでディベート学習などを通して、課題に対して主体的に考え、他者と対話しながら解決に向かう「考える力」の育成につなげる。また、校内漢字検定や確認テストを行い、児童一人ひとりの達成状況を確認しながら学習を進めていく。